

事務事業名	地域コミュニティ通信体系整備事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	24	終了	24
課等名	南信濃自治振興センター	係等名										
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり									
	施策	41	災害対策の推進									
目的	対象(誰・何を)	南信濃地区住民「補助金支出先:南信濃まちづくり委員会」						対象指標	指標名及び単位		24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	災害に備え、地区住民誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりを推進する							地区の人口		1780	
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害に備えている割合60%										
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	地区人口			1780	1713						
	定性目標											
事業概要	<p>南信濃地区は、広大な面積を有し急峻脆弱な地形の中に36集落890戸余りが点在している。また、当地域は高齢化率が51.8%と高く、独居・高齢者世帯も多い。このため、現状では災害時には道路の寸断、電話等の不通により集落の孤立化が予想され、避難・安否・負傷者等の把握が困難となり、情報収集が出来なくなる恐れがある。このため、各集落(36自治会)と拠点施設(5区)、自治振興センター(飯田市役所)を結ぶ災害に備えた通信体系(無線)を整備し、住民誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりを推進する。</p>											
24年度事業内容	事業内容				名称				活動指標			
	1 各地区(36自治会)、地区拠点施設(5区)、自治振興センター(飯田市)へ無線機を整備し、情報の収集にあたる。				1 設置数				1 42台			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		0	2,800	2,800	0	合併特例交付金						
国庫支出金												
県支出金			2,800	2,800								
起債												
その他												
一般財源												
人件費計(千円)②		0		1,073								
正規職員所要時間				300								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		0	2,800	3,873	0							
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>まちづくり委員会が主体となり、地区内36集落、地区拠点施設(5区)及び自治振興センターに無線機を整備し、災害時の際の情報収集手段を確保した。</p>											
改革改善の考え方	①問題点	災害時の無線等による情報収集の運用方法が、地区内に徹底されていない面があり、災害時の運用が課題である。										
	②改革提案	まちづくり委員会(自主防災会)が中心となって、消防団及び赤十字奉仕団等と災害等の際の対応について調整するなかで、災害時の情報伝達等を含めた緊急時対応マニュアルを策定し、地域へ周知する。										